

私のふくい探訪

楽しみな

2020年の

福井

私は2011年から県内の
中学校や高校に訪問し、生徒の

みなさんと国際人になるため
の心構えについて意見交換を
するなど、毎年福井県の皆さん
と交流をさせていただいてい
ます。2013年に早稲田大学
教授の私が内閣官房参与とし
て、2020年オリンピック・
パラリンピック東京大会推進
室長に就任しましたが、日本で
の開催が決定してから福井に
来て感じるのは、みんなが未来
のことを明るく話し始めたこ
とです。「5年後には結婚して
いるかな」「孫たちと一緒に観

戦したい」とか、それぞれの世
代で5年後の自分を思い描い
ている。本当に日本は変わった
と思います。以前は5年後の明
るい姿を想像するきつかけは
ありませんでした。

オリンピック・パラリンピッ
クが日本で開催されるという
ことは、純粹に幸福なことだと
思っています。

大会は東京で開催されます
が、福井県のみなさんにとつて
も、観戦する、しないに関わら
ず、世界中から集まる人におも
てなしをしたり、進学や就職で

上京して大会スタッフやボラ
ンティアとして参加するなど、
いろいろな形で関わりを持つ
ことになると思います。私も出
場選手が福井を訪れるように
仕組みを作りたいと思います。

街を歩いていて外国人に丸
岡城や東尋坊への道を聞かれ
たり、障害がある選手や観客に
出会うこともあります。それま
で名前も知らなかった国の人
との交流が生まれるかもしれま
せん。そのときの自分は何を感
じ、どう振る舞えるのか。
身を置く状況や価値観が異



2020年オリンピック・
パラリンピック東京大会推進室長

ひらた たけお
平田 竹男

1982年経済産業省入省。
2002年日本サッカー協会専務
理事。2006年早稲田大学大
学院スポーツ科学研究科教
授。2013年より内閣官房参
与、2020年オリンピック・パラ
リンピック東京大会推進室長。

なる人たちとも交流する、そ
の瞬間の自分。思い描くだけ
でも何かが変わると思いま
す。言い換えれば、2020年
があるから、変えることがで
きると思います。

オリンピック・パラリンピック
は単なるスポーツの大会とい
うだけではなく、あらゆる人
が関わりを持てるイベントだ
と思います。

それぞれの立場で、202
0年までの5年でいろいろな
準備ができると思います。例
えば、参加する国の中から個
人的に応援する国を作り、そ
の国のことを学び、できれば
その国に行ってみる。その時
には、会話もできた方が良く、
そこまでできたら2020年
は本当に特別なものになりま
すし、その経験や出会いはそ
の後の生きる力になると思っ
ています。

エネルギー  とこと 

原発停止に伴う火力発電の焼き増しにより、毎年約4兆円もの国富が海外流出しています。日本経済再生のため、火力・原子力・再エネのベストミックスを早急に定め、実行する必要があります。

福井県経済団体連合会 会長 **川田 建男**

福井県環境・エネルギー懇話会

〒918-8004 福井市西木田 2-8-1
福井商工会議所ビル 6F

▶バックナンバーはコチラから

福井県環境・エネルギー懇話会

次回掲載は

小林 栄三氏 5月30日(土)掲載予定

※掲載日は前後する場合がございます。
ご了承ください。